

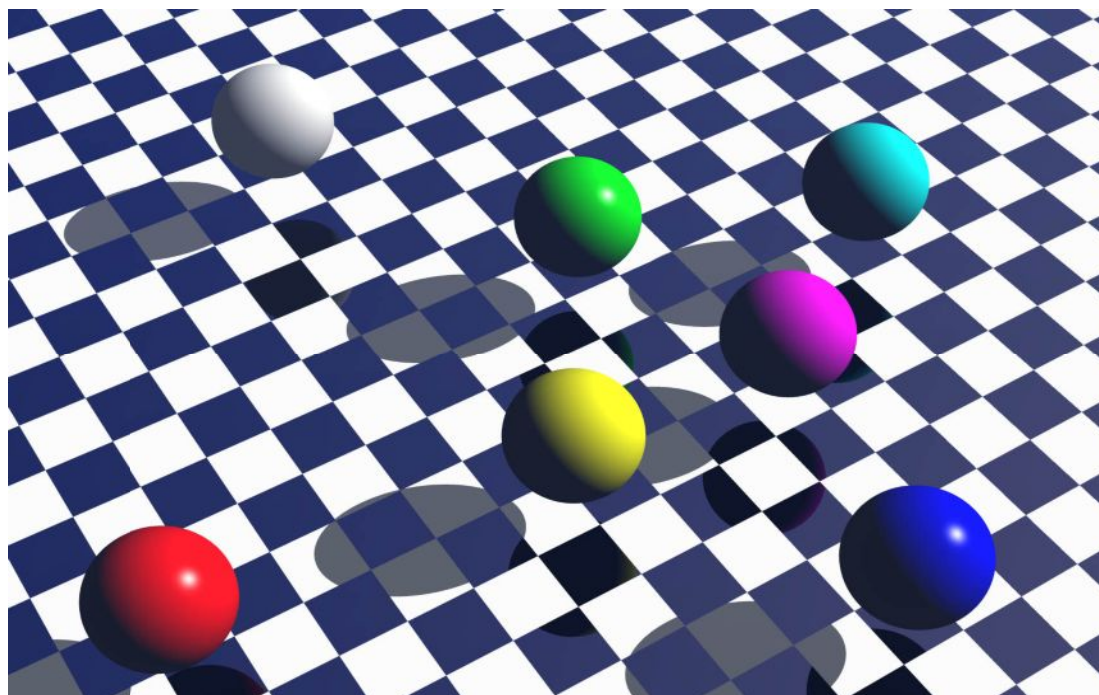
週刊 ストラテジー・ガイド

Weekly Strategy guide for commodity-traders

Fundamentals , Technical , Money management

Contents

金
白金
ゴム
トウモロコシ
大豆
石油製品
リスク管理



ストラテジー・ガイド 活用の手引き

A テクニカル・チャート

MACD と RCI は、オシレーターとトレンドフォロワーの2つの側面を持っていますので、順バリにも逆バリにも通用します。更に出来高と取組高やフィボナッチを加えて、トレンド継続の信頼度や具体的な売買ポイント、押し目・戻りのポイントを掴むことができます。チャートは直近 100 営業日の日足を掲載しています。

①MACD(Moving Average Convergence Divergence 移動平均収束・拡散)

2本の指数平滑移動平均の乖離線ことで、終値の12日平均と26日平均の差(グラフ上では太線)、その9日平均(細線)の2本で表されます。太線と細線のクロスや0ラインの上抜き・下抜きなどが売買のポイントとなり、また相場との逆行現象が天底を暗示します。

②RCI(Rank Correlation Index 順位相関係数)

順位付けされた日柄と相場の相関関係を指数化したものです。ここでは9日線(太線)と26日線(細線)を用いています。両線のクロスや0ラインの突破が売買ポイントとなり、-100や+100近辺への到達で天底を暗示します。

③価格帯別推定出来高

毎日の先限終値を基準に当日の全限月の出来高を集計しています(従って、各節毎の相場で集計する真数値とは異なります)。チャートや取組高推移と照らし合わせることで、価格水準ごとの取組の厚みを把握したり、ストップロスの発生ポイントを予想することができます。

④終値・取組高の推移とフィボナッチ、予想レンジ

先限終値のライン・チャートに押し目や戻りの指標となるフィボナッチ・ポイントを水平線にて掲載、更にライン・チャートに続けて20営業日後の相場予想レンジを加えています。取組高の推移を棒グラフで下方部に掲載することで、トレンドの継続性や転換示唆が解りやすくなるようにしています。

B コメント

各銘柄とも(ゴム以外)、上段にファンダメンタルズに関するトピックス*、下段に相場の現状分析とストラテジーを掲載しています。特にストラテジーは、トレンドの目標値や売買の仕掛けポイントなどをより具体的に記述しています。但し、このコメントは、あくまでも筆者個人の相場観ですので、参考情報の一つとしてご理解ください。尚、相場観は、MACD等テクニカル分析、取組高・出来高等の内部要因分析を根拠に作成しています。

C 相場データと分析試算値

①期間中データ

値幅とは、単純に期間中の高値・安値の差です。それに各銘柄の倍率を掛けて丸代金ベースでの変動金額を計算し、銘柄毎の委託本証拠金との比較をすることによって、レバレッジの大小を検証することが出来ます。

②相場予想レンジ

直近 20 営業日のボラティリティ(相場変動率)を基に、向こう 20 営業日後の相場到達レンジを試算しています。ボラティリティは相場の上下方向性には無関係ですので、常に現値から±〇〇円、というレンジが計算されます(20 営業日後、相場がこのレンジ内にいる確率は 68% です)。余裕証拠金とは、現時点から新規買い(売り)をした時、相場が予想レンジ下(上)限に達しても追証がかからないようにするために必要十分な証拠金のことで、これもレバレッジとリスクの大小を評価することに用います。

③売買ローテーション

新規・仕切りの取引別の出来高を集計し、(新規売り+買戻し)＝「売方」、(新規買い+転売)＝「買方」として、その比率を計算しています。現在の市場のリード役が売方なのか、買方なのかを理解できます。数値の変遷やローテーションの転換を把握するために常に当日と 12 営業日以前の数値を掲載しています。

④ストップロス加速ポイント予想

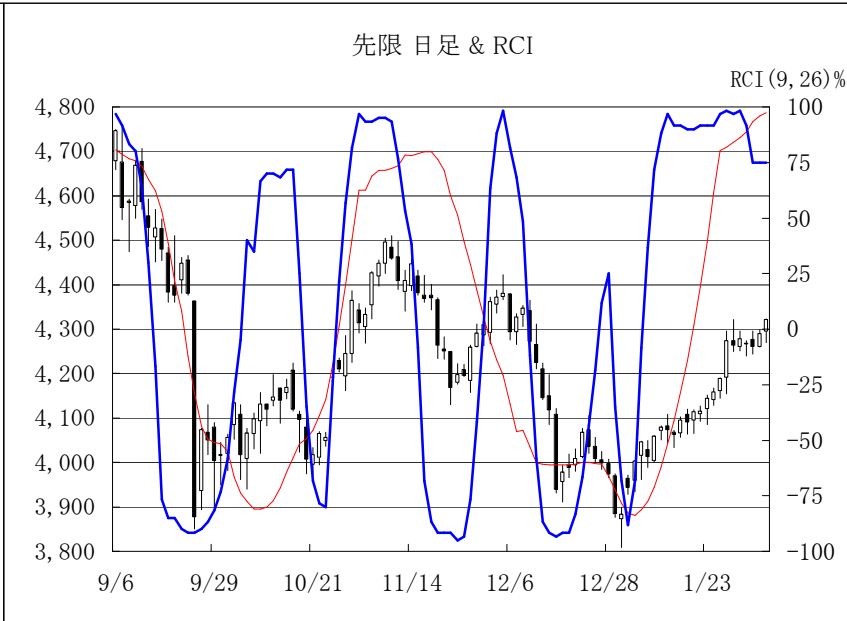
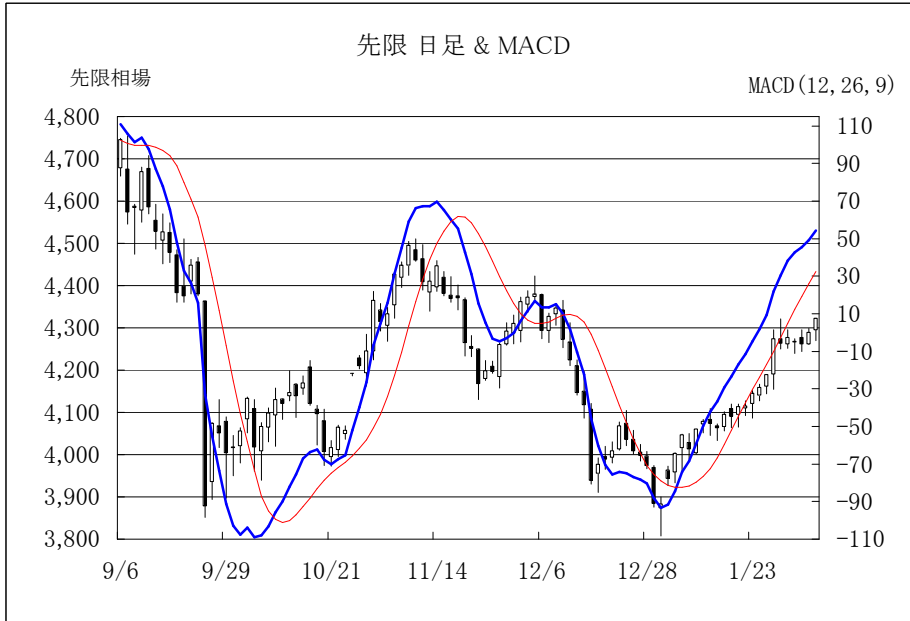
価格帯別出来高と各銘柄の追証値幅等を参考に計算しています。

⑤ヘッジ適正度と推奨枚数

ヘッジは、通常、コーンと大豆など同様の相場変動要因を持つ銘柄同士で行われますが、それは 2 銘柄間の相場変動が「順相関」関係にあるときに効力を発揮するものです。ここでは、その順相関の度合いによって適正度を判断することとし、★印 1～3 つで表しています(★の数が多いほど高適正)。無相関や逆相関関係状態でヘッジに適さない状況は×印で表しています。

枚数については、基本的に両銘柄の倍率を基に比率を決定します。しかし比率 1 : 1 の銘柄であっても、一方の銘柄が一日±100 円・他方の銘柄が±500 円動いている状況では、1 : 1 の比率を用いてもヘッジ効果を期待できません。従ってここでは、両銘柄のボラティリティを参考に比率を調整した上でヘッジ枚数を計算し、主銘柄 10 枚当たりのヘッジ推奨枚数として掲載しています。

※ファンダメンタルズに関するトピックスは、先物情報ネットワーク社、時事通信社、ロイター通信などの情報ベンダー、更に日本経済新聞、日経金融新聞、日刊工業新聞、日本証券新聞、燃料油脂新聞などの新聞記事情報を参考にしております。

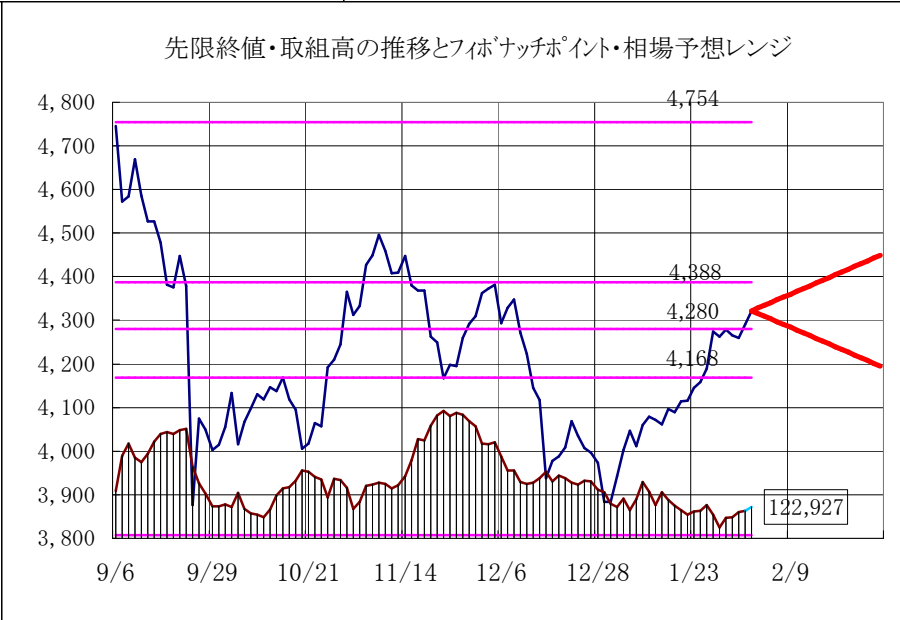


ファンダメンタルズ

WGC 2010金需給	
世界需要	4000.4トン (前年度比 +10.6%)
供給	4,151.5トン (前年度比 +1.73%)
キャップ	151.1トン供給過剰
2011第1から第3四半期累計	
11年需要計	3,027.9トン (前年同期比 -11.0%)
宝飾	1,872.2トン (同 -9.0%)
ETF等	67.2トン (同 +58.0%)
11年供給計	2,944.5トン (同 +2.0%)
鉱山生産	2,108.5トン (同 +15.0%)
公的売却	-348.7トン (同 ---)

価格帯別推定出来高

4,650 ~	197,287
4,550 ~	387,755
4,450 ~	340,791
4,350 ~	1,081,688
4,250 ~	954,713
4,150 ~	482,314
4,050 ~	1,574,809
3,950 ~	864,843
3,850 ~	472,387



過去100営業日 相場データと分析試算値

2/3 の先限終値 4,322

期間中	高値	9/7/11	4,754	
	安値	12/30/11	3,808	対本証比
	値幅	946	→ 946,000円	686%
	最高取組高	11/22/11	147,096 枚	

20日後の予想レンジ(試算)	4,195 ~ 4,449
1日当たりの変動幅(試算)	± 30 → 30,000円
予想変動幅(試算)	± 127 → 127,000円
期待収益率(対本証比 試算)	92.0%
10枚当たりの余裕証拠金(試算)	2,070,000円

フィボナッチ 38%	4,168	現値との乖離	154
半値戻しポイント	4,280		42
フィボナッチ 62%	4,388		-66

当業者比率	02/03	売	45.4%	買	15.0%
	02/01	売	44.2%	買	14.9%
	01/30	売	45.3%	買	15.7%

ストップロス加速ポイント予想	買い	4,350	売り	4,252
白金でのヘッジ適性度	★★★ (最高は★★★★)			
推奨枚数	12 枚 (10枚当たり)			

1月中旬に4300円目標の上昇トレンド入りとなった相場は、ボレタ系指標による高値警戒が強まる中を伸び悩んだが、週末に目標をクリアし、4500円を目標とする新たな上昇ステージへ突入した。従って積極買いで対処するが、RCI長期線が上限に達するなど、依然として高値警戒が強いので、4250円レベルまでの押しを予め念頭に入れるべき。4200円下値抵抗は強固。

商品取引は、証拠金取引であり投下資金以上の損失が生じる場合があります。
 この資料は、商品取引の情報提供を目的としており、お取引の最終判断はお客様ご自身でなさるようお願い申し上げます。
 各試算値は当社計算によるものです。データは正確を期しておりますが、その内容等を保証するものではありません。



ファンダメンタルズ
プラチナ2011

2010需要合計	192.80
(前年比 +15.03%)	
触媒	98.30
(前年比 +44.55%)	
宝飾品	76.70
(前年比 -12.24%)	
供給合計	198.90
(前年比 +6.13%)	
南ア	148.50
(前年比 +2.98%)	
ロシア	25.70
(前年比 +5.32%)	
北米	11.20
(前年比 +38.27%)	
供給超過	6.10
(前年比 13.7ト供給超過縮小)	

単位: ト
(JM社2011.11月発表)

価格帯別推定出来高

4,615 ~	21,584
4,515 ~	47,422
4,415 ~	37,882
4,315 ~	32,100
4,115 ~	65,306
4,015 ~	174,631
3,915 ~	139,392
3,815 ~	270,289
3,715 ~	313,345
3,615 ~	112,017
3,515 ~	131,291
3,415 ~	58,347



過去100営業日 相場データと分析試算値

2/3 の先限終値 4,023

期間中	高値	9/7/11	4,726		
	安値	12/30/11	3,376	対本証比	
	値幅	1,350	→	675,000円	865%
	最高取組高	9/22/11	49,137 枚		

20日後の予想レンジ(試算)	3,820 ~ 4,226
1日当たりの変動幅(試算)	± 50 → 25,000円
予想変動幅(試算)	± 203 → 101,500円
期待収益率(対本証比 試算)	130.1%
10枚当たりの余裕証拠金(試算)	1,560,000円

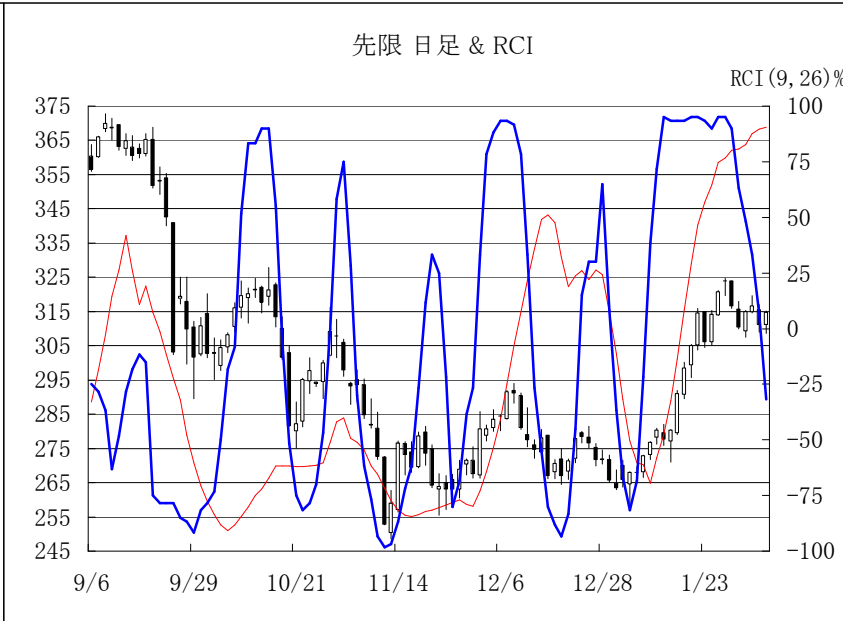
フィボナッチ 38%	3,896	現値との乖離	127
半値戻しポイント	4,050		-27
フィボナッチ 62%	4,206		-183

当業者比率	02/03	売	37.9%	買	19.9%
	02/01	売	35.9%	買	19.4%
	01/30	売	35.9%	買	18.9%

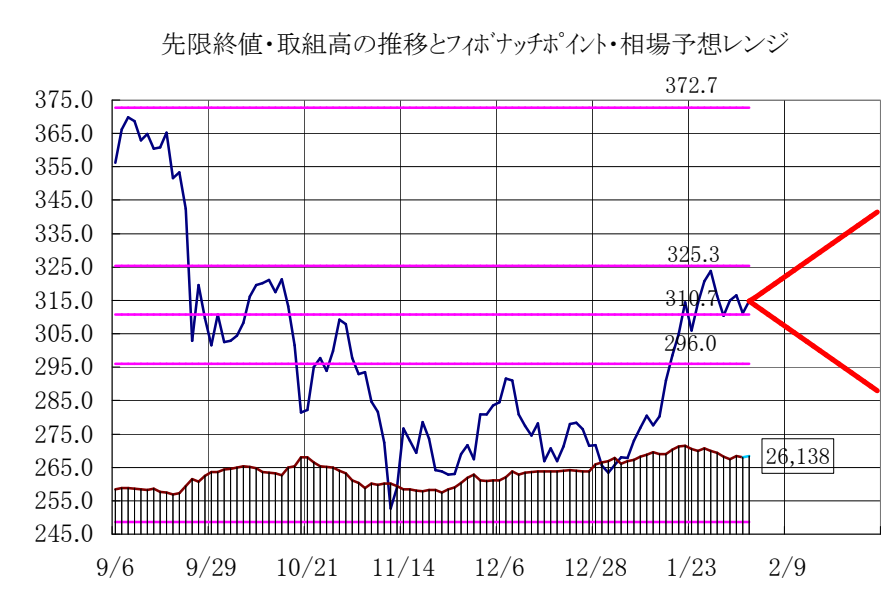
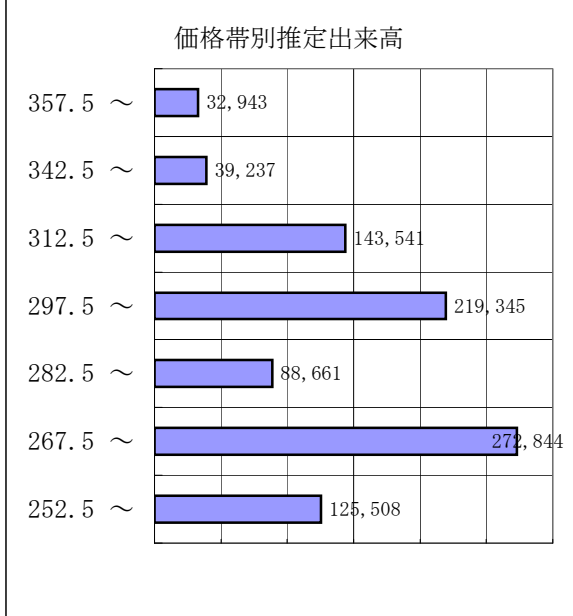
ストップロス加速ポイント予想	買い	4,059	売り	3,944
金でのヘッジ適性度	★★★ (最高は★★★★)			
推奨枚数	9 枚 (10枚当たり)			

1月27日に当初目標の4000円大台に到達して4300円を目標とする新局面に入った相場は、3900円までの押し目形成を経て週末には5営業日ぶりに大台を回復、トレンド継続を確認している。従って積極買い方針を継続するが、RCIの弱気支持転換や伸び悩む取組高がトレンドの勢い低下を示唆しており、4000円を挟んだもみ合いを展開する可能性も高い。

商品取引は、証拠金取引であり投下資金以上の損失が生じる場合があります。
この資料は、商品取引の情報提供を目的としており、お取引の最終判断はお客様ご自身でなさるようお願い申し上げます。
各試算値は当社計算によるものです。データは正確を期しておりますが、その内容等を保証するものではありません。



- ファンタメンタルズ -
 全国生ゴム在庫(01/20)
 在庫 14,422トン
 (前旬比 +624)
 (前年同期比 +6,519)
 ※生ゴム在庫適正水準は3万トン。
 在庫>35,000トンで過剰
 在庫<25,000トンで逼迫
 タIRSS3(対日商社向け)
 2月3日 400.0/kg
 (前週比 +0.00)
 313.8円
 (前週比 -4.4)
 上海ゴム受渡在庫(02/03)
 32,114
 (前週比 -2,035)



過去100営業日 相場データと分析試算値

2/3 の先限終値 314.7

期間中	高値	9/8/11	372.7		
	安値	11/11/11	248.6		対本証比
	値幅	124	→	620,500円	886%
	最高取組高	1/20/12	28,328 枚		

20日後の予想レンジ(試算)	288.0 ~ 341.4
1日当たりの変動幅(試算)	± 6.1 → 30,500
予想変動幅(試算)	± 26.7 → 133,500円
期待収益率(対本証比 試算)	190.7%
10枚当たりの余裕証拠金(試算)	1,750,000円

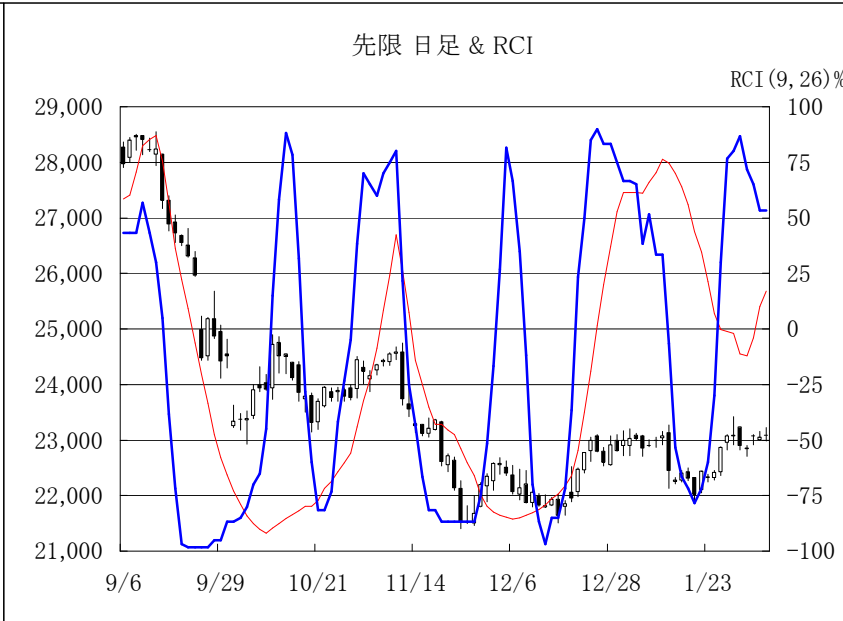
フィボナッチ 38%	296.0	現値との乖離	18.7
半値戻しポイント	310.7	"	4.0
フィボナッチ 62%	325.3	"	-10.6

当業者比率	02/03	売	71.9%	買	82.5%
	02/01	売	52.4%	買	76.8%
	01/30	売	41.6%	買	75.1%

ストップロス加速ポイント予想	買い	320.6	売り	308.3
----------------	----	-------	----	-------

相場は、1月下旬に340円を目標とした上昇トレンド発生を確認したが、ホルタ系の高値警戒が強まり、トレンド系の強気支持低下、更にはポイント取組高の頭打ちとトレンド継続の信頼度に翳りが見える中、直近100営業日の半値ポイントを下値抵抗にもみ合いする展開となっている。直近のチャートがヘナント型を描いており、半値ポイントを下抜くとトレンド転換に繋がるので、目先は同ポイントを巡る攻防を見極める。

商品取引は、証拠金取引であり投下資金以上の損失が生じる場合があります。
 この資料は、商品取引の情報提供を目的としており、お取引の最終判断はお客様自身でなさるようお願い申し上げます。
 各試算値は当社計算によるものです。データは正確を期しておりますが、その内容等を保証するものではありません。



ファンダメンタルズ

11-12米国需給 (USDA 01月)	
生産高	12,358 百万bus (前年度比 -89)
期末在庫	846 百万bus (前月発表比 -2) (前年度比 -282)
11-12世界期末在庫 (USDA 01月)	
11-12	128.14 百万ト (前月発表比 +0.95) (前年度比 +0.08)
米輸出成約高 (01/26現在)	
今期累計	27,622.8 千ト (前年同期比 -5.56%)

価格帯別推定出来高

27,500 ~	12,375
26,500 ~	17,416
25,500 ~	6,070
24,500 ~	17,129
23,500 ~	56,678
22,500 ~	64,881
21,500 ~	53,837



過去100営業日 相場データと分析試算値

2/3 の先限終値 23,080

期間中 高値	9/13/11	28,550	
安値	11/24/11	21,400	対本証比
値幅		7,150	→ 357,500円 542%
最高取組高	9/13/11	32,906 枚	
20日後の予想レンジ(試算)		21,950 ~ 24,210	
1日当たりの変動幅(試算)		± 250	→ 12,500円
予想変動幅(試算)		± 1130	→ 56,500円
期待収益率(対本証比 試算)			85.6%
10枚当たりの余裕証拠金(試算)			990,000円
フィボナッチ 38%	24,130	現値との乖離	-1,050
半値戻しポイント	24,980		-1,900
フィボナッチ 62%	25,820		-2,740
市場占有率	2/3	売方 55.1%	買方 44.9%
	1/26	売方 33.8%	買方 66.2%
	1/18	売方 60.8%	買方 39.2%
ストップロス加速ポイント予想	買い 23,160	売り	22,670
一般大豆でのヘッジ適性度	★★★ (最高は★★★)		
推奨枚数	67 枚	(10枚当たり)	

1月中旬の22000円レベルから反発に転じ、23000円台回復と同時に下降トレンド終了を確認した相場だが、テクニカルが中立を示す中、明確な方向感を持つことなく23000円を挟んだのみ合いに終始している。ただ、取組高が増加傾向にあることから、23500-22500円の上下抵抗線がレバをキッカにしたトレンド発生の可能性が高まっている。売買はトレンド発生確認を待つ。

商品取引は証拠金取引であり、投下資金以上の損失が生じる可能性があります。
 この資料は、商品取引の情報提供を目的としており、お取引の最終判断はお客様自身でなさるようお願い申し上げます。
 各試算値は当社計算です。データは正確を期しておりますが、その内容等を保証するものではありません。

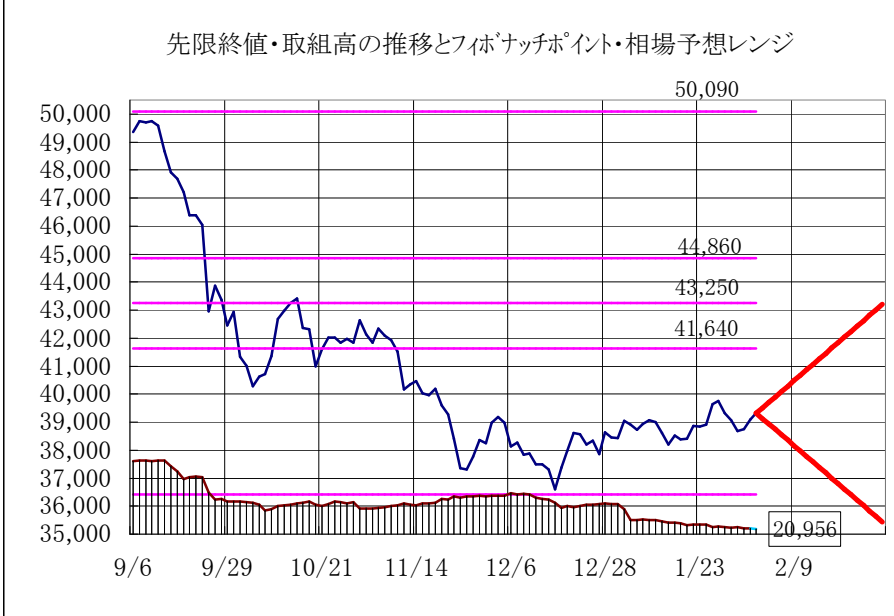


- ファンタメンタルズ -

11-12米国需給 (USDA 01月)	
生産高	3,056 百万bus (前年度比 -273)
期末在庫	275 百万bus (前月発表比 +45) (前年度比 +60)
11-12世界期末在庫 (USDA 01月)	
11-12	63.43 百万ト (前月発表比 -1.11) (前年度比 -5.15)
米輸出成約高 (01/26現在)	
今期累計	26,319.2 千ト (前年同期比 -31.40%)

価格帯別推定出来高

49,500~	6,444
48,500~	5,907
47,500~	7,909
46,500~	4,257
45,500~	12,672
43,500~	4,408
42,500~	33,159
41,500~	32,582
40,500~	21,422
39,500~	26,782
38,500~	41,192
37,500~	38,667
36,500~	18,700



過去100営業日 相場データと分析試算値

2/3 の先限終値 39,320

期間中 高値	9/6/11	50,090	
" 安値	12/15/11	36,410	対本証比
" 値幅		13,680 → 136,800円	912%
" 最高取組高	9/13/11	33,541 枚	

20日後の予想レンジ(試算)	35,440 ~ 43,200
1日当たりの変動幅(試算)	± 320 → 3,200円
予想変動幅(試算)	± 3880 → 38,800円
期待収益率(対本証比 試算)	258.7%
10枚当たりの余裕証抛金(試算)	525,000円

フィボナッチ 38%	41,640	現値との乖離	-2,320
半値戻しポイント	43,250	"	-3,930
フィボナッチ 62%	44,860	"	-5,540

市場占有率	2/3	売方	41.9%	買方	58.1%
	1/26	売方	49.0%	買方	51.0%
	1/18	売方	48.8%	買方	51.2%

ストップロス加速ポイント予想	買い	39,570	売り	38,560
コーンでのヘッジ適性度	★★★ (最高は★★★★)			
" 推奨枚数	1 枚 (10枚当たり)			

相場は、引き続き方向感を欠いた展開を継続している。昨年末以来の足取りを見ると、結局39000円±1000円のレンジを抜けることなく、典型的なボックス相場を形成している。テクニカルは中立を継続、取組高は漸減傾向から脱却出来ずに市場からの資金流出を顕著に表している。従ってボックス・レンジを放れてトレンド形成に至る可能性は非常に低く、売買は様子見。

商品取引は証拠金取引であり、投下資金以上の損失が生じる可能性があります。
この資料は、商品取引の情報提供を目的としており、お取引の最終判断はお客様ご自身でなさるようお願い申し上げます。
各試算値は当社計算です。データは正確を期しておりますが、その内容等を保証するものではありません。



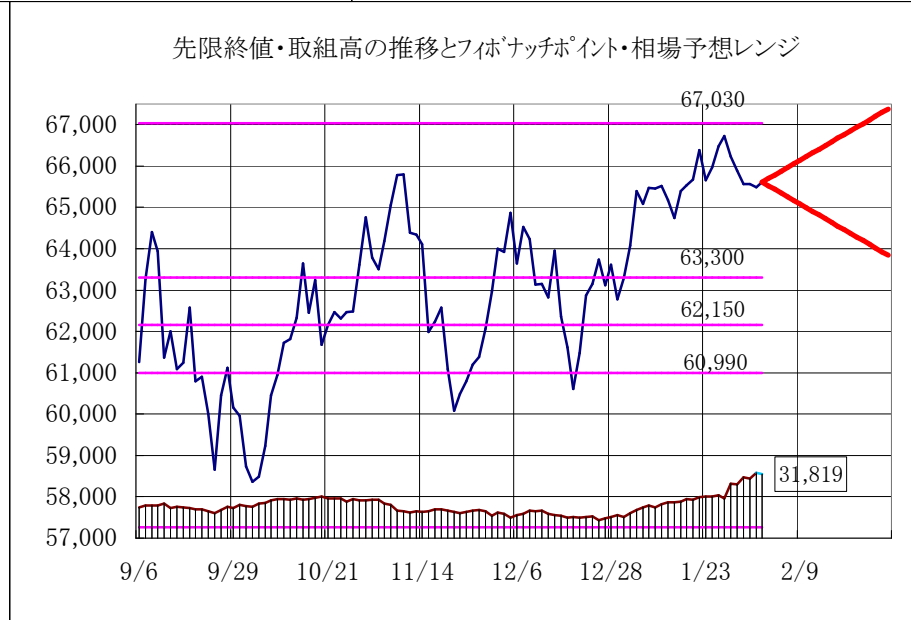
ファンダメンタルズ

国内原油処理量(01/22-01/28)	週間	4,182,395
	(前週比)	+10,617
	(前年同期比)	-269,691
設計能力稼働率		90.0%
	(前週比)	-1.1
国内製品在庫(01/22-01/28)	ガソリン	2,115,203
	(前週比)	+15,588
	(前年同期比)	-161,827
国内製品生産量(01/22-01/28)	ガソリン	1,076,432
	(前週比)	-30,898
	(前年同期比)	-76,252
製品輸出量(01/22-01/28)	ガソリン輸出	815
	(前週比)	-31,470
	(前年同期比)	-60,909

単位:キロリットル
資料:石油連盟

価格帯別推定出来高

66,500 ~	12,264
65,500 ~	128,438
64,500 ~	98,803
63,500 ~	148,409
62,500 ~	98,414
61,500 ~	131,104
60,500 ~	101,910
59,500 ~	62,199
58,500 ~	33,134
57,500 ~	18,377



過去100営業日 相場データと分析試算値

2/3 の先限終値 65,610

期間中	高値	1/27/12	67,030	
	安値	10/5/11	57,260	対本証比
	値幅		9,770	→ 488,500円
	最高取組高	2/2/12	32,040 枚	543%

20日後の予想レンジ(試算)	63,840 ~ 67,380
1日当たりの変動幅(試算)	± 390 → 19,500円
予想変動幅(試算)	± 1770 → 88,500円
期待収益率(対本証比 試算)	98.3%
10枚当たりの余裕証拠金(試算)	1,350,000円

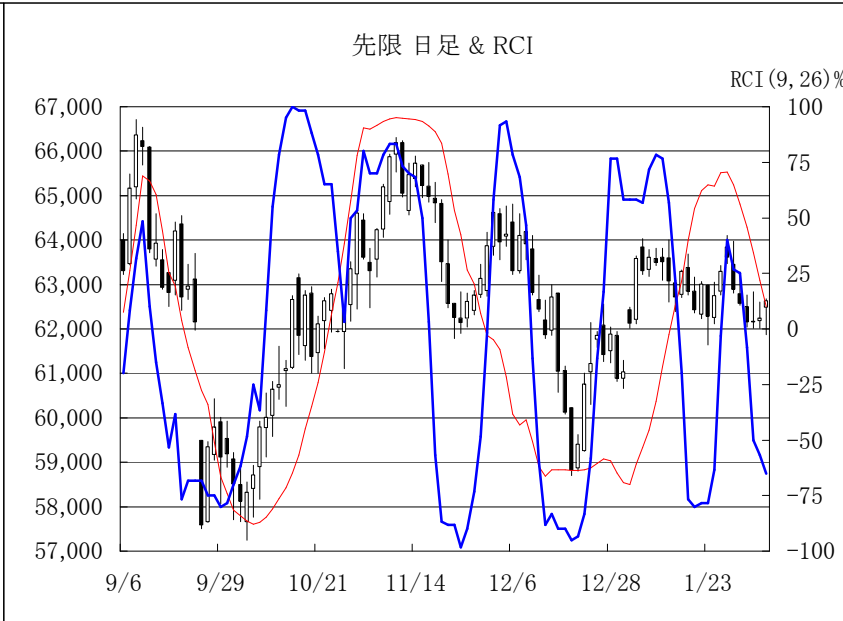
フィボナッチ 38%	63,300	現値との乖離	2,310
半値押しポイント	62,150	"	3,460
フィボナッチ 62%	60,990	"	4,620

当業者比率	02/03	売	58.7%	買	65.4%
	02/01	売	61.8%	買	64.0%
	01/30	売	64.2%	買	63.1%

ストップロス加速ポイント予想	買い	66,500	売り	64,720
灯油でのヘッジ適性度	不適 (最高は★★★)			
"	推奨枚数	---- (10枚当たり)		

年初来の相場は、68000円を目標とした上昇トレンドを形成しているが、67000円上値抵抗線に上昇を阻まれると押し目形成期入りとなっている。テクニカルは弱気支持に転換しているが、相場自体が65000円下値抵抗を維持して反発の様相を見せており、また取組高も尚増加を続けているので上昇トレンドは継続と判断、再度の66000円台乗せ(引値)をシグナルに買い仕掛け

商品取引は証拠金取引であり、投下資金以上の損失が生じる可能性があります。
この資料は、商品取引の情報提供を目的としており、お取引の最終判断はお客様ご自身でなさるようお願い申し上げます。
各試算値は当社計算です。データは正確を期しておりますが、その内容等を保証するものではありません。



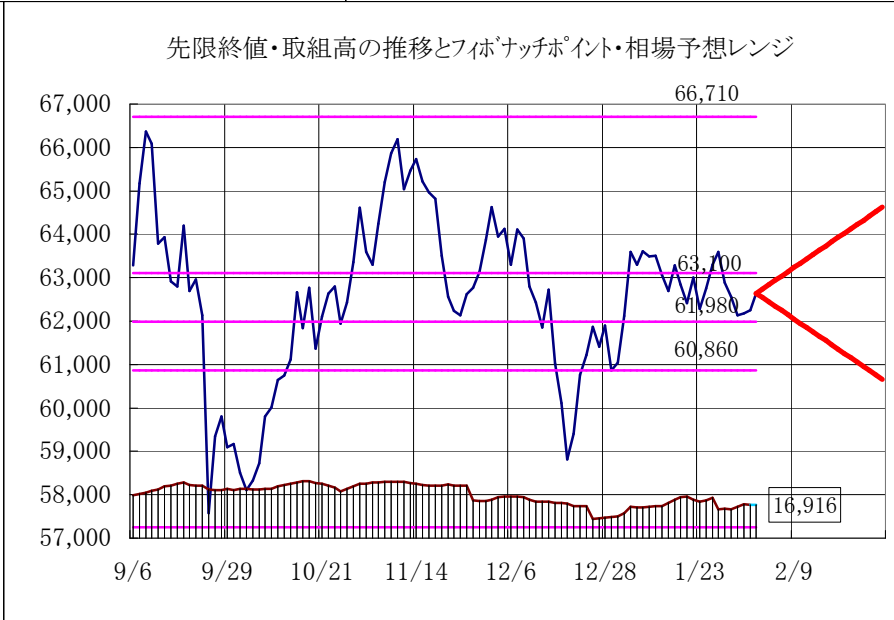
ファンダメンタルズ

国内原油処理量(01/22-01/28)	
週間	4,182,395
	(前週比 +10,617)
	(前年同期比 -269,691)
設計能力稼働率	90.0%
	(前週比 -1.1)
国内製品在庫(01/22-01/28)	
灯油	2,282,475
	(前週比 -239,044)
	(前年同期比 +365,213)
国内製品生産量(01/22-01/28)	
灯油	604,769
	(前週比 +24,642)
	(前年同期比 -62,718)
製品輸出量(01/22-01/28)	
灯油輸出	0
	(前週比 +0)
	(前年同期比 -2,181)

単位:キロリットル
資料:石油連盟

価格帯別推定出来高

65,500 ~	12,890
64,500 ~	29,639
63,500 ~	53,816
62,500 ~	96,698
61,500 ~	49,991
60,500 ~	32,002
59,500 ~	11,119
58,500 ~	25,949
57,500 ~	11,407



過去100営業日 相場データと分析試算値

2/3 の先限終値 62,640

期間中	高値	9/8/11	66,710	
	安値	10/5/11	57,250	対本証比
	値幅	9,460	→	473,000円 526%
	最高取組高	10/18/11	21,856 枚	

20日後の予想レンジ(試算) 60,660 ~ 64,620
 1日当たりの変動幅(試算) ± 440 → 22,000円
 予想変動幅(試算) ± 1980 → 99,000円
 期待収益率(対本証比 試算) 110.0%
 10枚当たりの余裕証拠金(試算) 1,800,000円

フィボナッチ 38%	60,860	現値との乖離	1,780
半値戻しポイント	61,980	"	660
フィボナッチ 62%	63,100	"	-460

当業者比率	02/03	売	29.9%	買	27.7%
	02/01	売	17.0%	買	14.4%
	01/30	売	14.7%	買	11.9%

ストップロス加速ポイント予想 買い 63,260 売り 62,560
 ガソリンでのヘッジ適性度 不適 (最高は★★★)
 " 推奨枚数 ---- (10枚当たり)

相場は、年が明けて63000円上値抵抗線を突破と同時に上昇トレンド発生に至ったものの、64000円上値抵抗の強さ
 に跳ね返されて、以後63000円を挟んだもみ合いを継続しながら方向感を探る展開となっている。テクニカルが中立を示
 す中、取組高も安定しており、波乱局面を迎える可能性は低い。従って明確なトレンド発生までは様子見を極め込むしかない。

商品取引は証拠金取引であり、投下資金以上の損失が生じる可能性があります。
 この資料は、商品取引の情報提供を目的としており、お取引の最終判断はお客様ご自身でなさるようお願い申し上げます。
 各試算値は当社計算です。データは正確を期しておりますが、その内容等を保証するものではありません。

銘柄	直近5営業日			週末データ			向こう5営業日													
	直近値	高安差	証拠金比率	週間出来高	取組高	サヤ(価格差)	予想レンジ		評価額・期待収益率		トレンド	推奨戦略								
東京金	4,322	84	60.9%	190,908 枚 (前週比 -49,180 枚)	122,927 枚 (前週比 +5,167 枚)	1番限比 6円 順	標準 4,270 ~ 4,374 ± 52	52,000	37.7%	上昇トレンド [※] 継続 目標4300円	新規… 積極買い	2 " 1円 順	294,000	213.0%	買方… 買い増し					
						4 " 1円 逆						最大振幅 ± 294				売方… 途転買い				
						1番限比 24円 順						標準 3,886 ~ 4,160 ± 137					68,500	87.8%	上昇トレンド [※] 継続 目標4300円	新規… 積極買い
						2 " 12円 順														
4 " 2円 順	標準 304.5 ~ 324.9 ± 10.2	51,000	72.9%	上昇トレンド [※] 継続 目標340円	新規… 様子見															
2 " 13.7円 順						標準 22,810 ~ 23,350 ± 270	13,500	33.8%	トレンド [※] 不透明	買方… SLを置いて様子見										
4 " 6.0円 順	最大振幅 ± 36.2	181,000	258.6%	売方… SLを置いて様子見																
1番限比 1,720円 逆					標準 38,600 ~ 40,040 ± 720						7,200	48.0%	トレンド [※] 不透明	新規… 様子見						
2 " 1,520円 逆	最大振幅 ± 1,760	88,000	220.0%	買方… SLを置いて様子見																
4 " 1,230円 逆						標準 65,200 ~ 66,020 ± 410	20,500	22.8%	上昇トレンド [※] 継続 目標68000円	新規… 66000円回復で買い										
1番限比 6,320円 順	最大振幅 ± 2,340	23,400	156.0%	買方… 建玉維持																
2 " 6,040円 順					標準 61,890 ~ 63,390 ± 750						37,500	41.7%	トレンド [※] 不透明	新規… 様子見						
4 " 1,040円 順	最大振幅 ± 4,740	237,000	263.3%	買方… SLを置いて様子見																
1番限比 210円 順						標準 61,890 ~ 63,390 ± 750	37,500	41.7%	トレンド [※] 不透明	新規… 様子見										
2 " 1,220円 逆	最大振幅 ± 4,480	224,000	248.9%	買方… SLを置いて様子見																
4 " 880円 逆					標準 61,890 ~ 63,390 ± 750						37,500	41.7%	トレンド [※] 不透明	新規… 様子見						
1番限比 4,270円 逆	最大振幅 ± 4,480	224,000	248.9%	買方… SLを置いて様子見																
2 " 2,570円 逆						最大振幅 ± 4,480	224,000	248.9%	買方… SLを置いて様子見											
4 " 140円 逆	最大振幅 ± 4,480	224,000	248.9%	買方… SLを置いて様子見																

※SL=ストップロス

- 注1 直近値は、各銘柄ともに週末の先限終値です。但し情報ベンダー経由の情報なので、取引所発表数値と異なる場合があります。また高安差は、直近5営業日の高値-安値です。
 2 標準予想レンジは、直近5営業日のヒストリカル・ボラティリティに基づいた当社試算値です。
 3 最大振幅は、直近1年間(250日)のヒストリカル・ボラティリティに基づいた当社試算値で、向こう5営業日の予想値です。
 4 標準予想レンジが最大振幅より大きい場合、短期ボラティリティが非常に高いことを示しています。
 5 評価額とは、予想レンジ×取引倍率です。
 6 向こう5営業日のトレンド・推奨戦略は、MACD等のテクニカル分析や取組高等の内部要因分析に基づいて作成しています。

商品先物取引業者 農林水産省指令 22 総合第 1337 号 経済産業省平成 22・12・13 商第 19 号

セントラル商事株式会社

本 社 〒104-0033 東京都中央区新川 1-24-1 秀和第 2 新川ビル TEL03-5542-8911 FAX03-5542-8863

大阪支社 〒541-0054 大阪府中央区南本町 2-2-9 辰野南本町ビル TEL 06-6261-7000 FAX06-6263-5533

名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 5-21-8 船入ビル TEL052-582-1161 FAX052-582-1172

Internet URL ■ <http://www.central-shoji.co.jp> E-mail ■ info@central-shoji.co.jp

商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は相場の変動によって損失が生ずるおそれがあります。また、委託者証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その損失額は預託している取引証拠金等の額を上回ることがあります。尚、各銘柄の証拠金及び手数料の額は、予告なく変更される場合がありますので、弊社ホームページまたは担当者を通じて常に最新の金額をご確認ください。

お取引に関するお問い合わせ先 セントラル商事お客様相談窓口 フリーダイヤル 0120-975-002(平日：午前 9 時～午後 5 時) E-メール kanri@central-shoji.co.jp

日本商品先物取引協会相談センター 東京都中央区小網町 9 番 4 号 tel. 03-3664-6243(平日：午前 9 時～午後 5 時)

当社の企業情報は、本店のほか日本商品先物取引協会の本部又はホームページでご覧になれます。日商協 HP(<http://www.nisshokyo.or.jp>)